

北太平洋北緯30度、西経145度（多分）

ピアノアレンジのための音楽入門A

ネギの音楽室 版

導入

- ◆ 自己紹介
- ◆ はじめに
- ◆ 音楽理論が分かるとどうなるか

知識編

- ◆ 基礎的知識
- ◆ 和声（コード）の機能と種類
- ◆ 短調の場合の機能と種類

実践編

- ◆ 実際の曲のコード進行
- ◆ 様々な編曲者の編曲手法

- ♪ この講座は██████に向けて、コードの成り立ちから機能・進行までを1時間弱で叩き込むためのものである。
- ♪ しかし音楽理論は基本を修得した後に、実際にJ-POPのような曲を分析して勉強していった方が手っ取り早く習得できる気がする。
- ♪ 入門ということでテンションノート等のジャズの知識はあまり触れていない。というか僕も分からない。

(ここから専門家向けです)

- ♪ コード名表記(Cmなど)と芸大和声表記(V_7^2 など)を併記している。数字付き低音(I_4^6 など)は扱わない。また、短調の主和音をVIImとしたり、減七をVIIIdim7とするような、一元的な度数表記は用いない。
- ♪ ポップスも多く取り扱うため、導音下行の禁則、限定進行などの対位法に関わる話は扱わない。
- ♪ 裏コードについては増六和音の一種と解釈します。

4 音楽理論が分かるとどうなるか

好きな曲が「好き」である理由が分かる



自分はこの曲のどの部分に惹かれたのか？を人に伝えられる

弾いてる曲に対する理解が深まる



作曲者はなにを思ったのか？を論理的に理解できる

自分でアレンジして弾けるようになる



ポップスのピアノソロ編曲・合奏・合唱...etc.
コード譜が読めて耳コピが楽になる
ただ耳コピしただけではなく、
ピアノ映えするような編曲ができる

習得してもモテるわけではない



でもN=1だから第2種の過誤かもしれない

導入

- ◆ 自己紹介
- ◆ はじめに
- ◆ 音楽理論が分かるとどうなるか

知識編

- ◆ 基礎的知識
- ◆ 和声（コード）の機能と種類
- ◆ 短調の場合の機能と種類

実践編

- ◆ 実際の曲のコード進行
- ◆ 様々な編曲者の編曲手法

音名：多いけど頑張って覚えて

	嬰ハ 変ニ	嬰ニ 変ホ		嬰ヘ 変ト	嬰ト 変イ	嬰イ 変ロ		
	Cis Des	Dis Es		Fis Ges	Gis As	Ais B		
ドイツ語	C	D	E	F	G	A	H	C
イタリア語	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
英語	C	D	E	F	G	A	B	C
日本語	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ

ドイツ語読みだけはあんまり覚える必要なし(本資料では一応併記する)

ド～シの12音全てを自由に使っていいわけではない！

▶ 特定の規則性にしがたって使う音を制限する＝音階

長調

短調

大体この2つが大事

近年のポップスではかなり曖昧になりつつある...

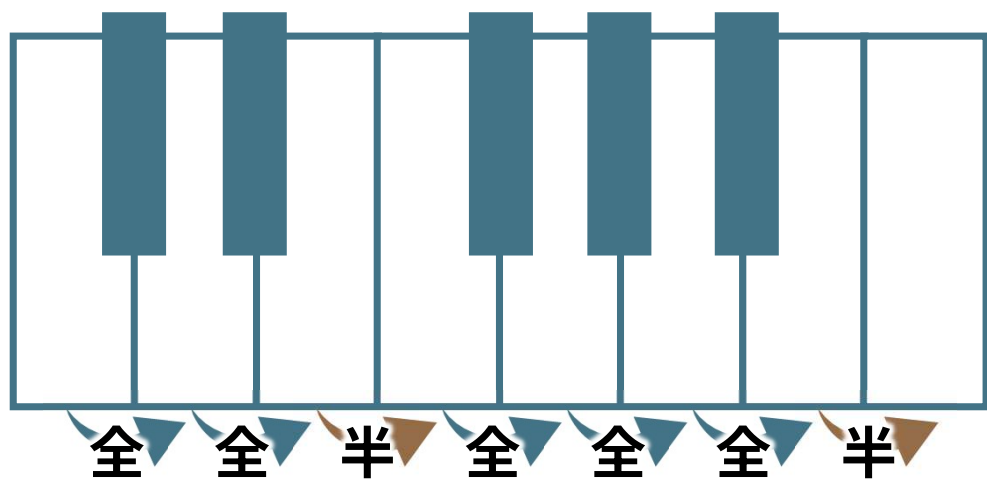
教会旋法(ドリア、フリギア、リディア...)

ヨナ抜き音階(呂旋法)：レとソを抜いた所謂「和風」的音階

ニ口抜き音階(琉球音階)：沖縄感が強い音階

長調：major(英)、dur(独)

長調：全-全-半-全-全-全-半の規則で並べた音階；**明るい**



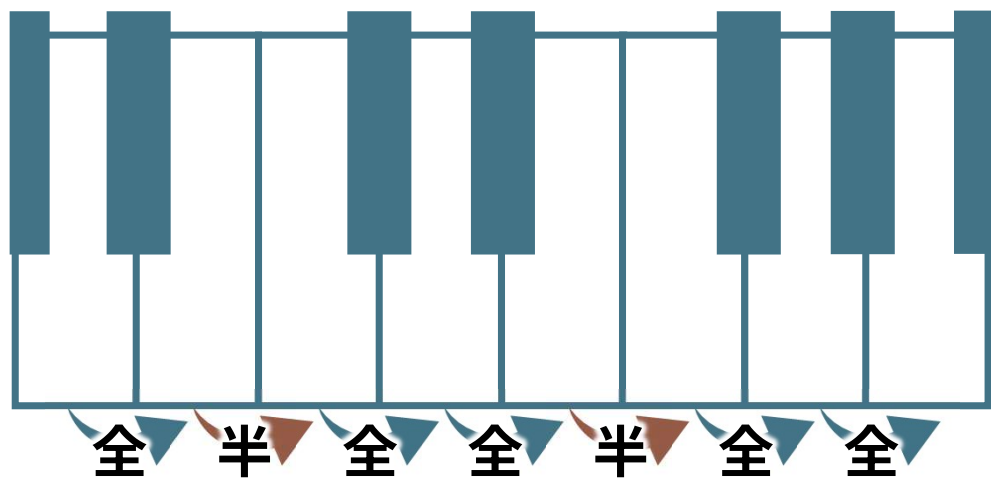
例 八長調：C major、C-dur



= 「ハ(C)」の音から始まる長調

短調：minor(英)、moll(独)

短調：全-半-全-全-全-半-全-全の規則で並べた音階；**暗い**

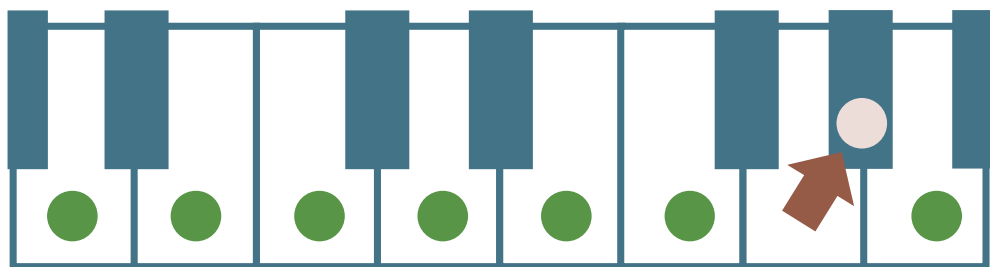


例 イ短調：A minor、a-moll



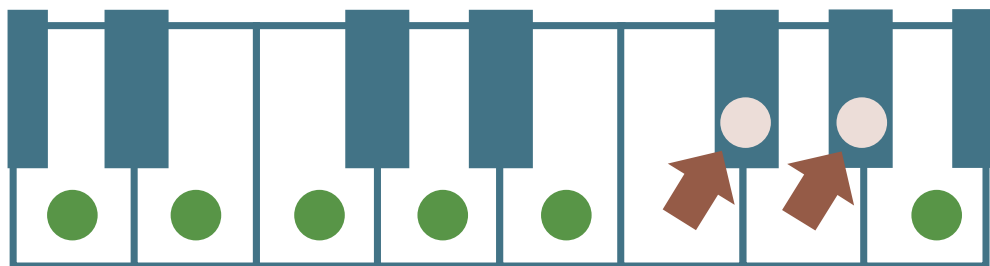
= 「イ(A)」の音から始まる短調

和声的短音階



第七音を半音上げる

旋律的短音階



第六・七音を半音上げる

例 二短調（自然的短音階）



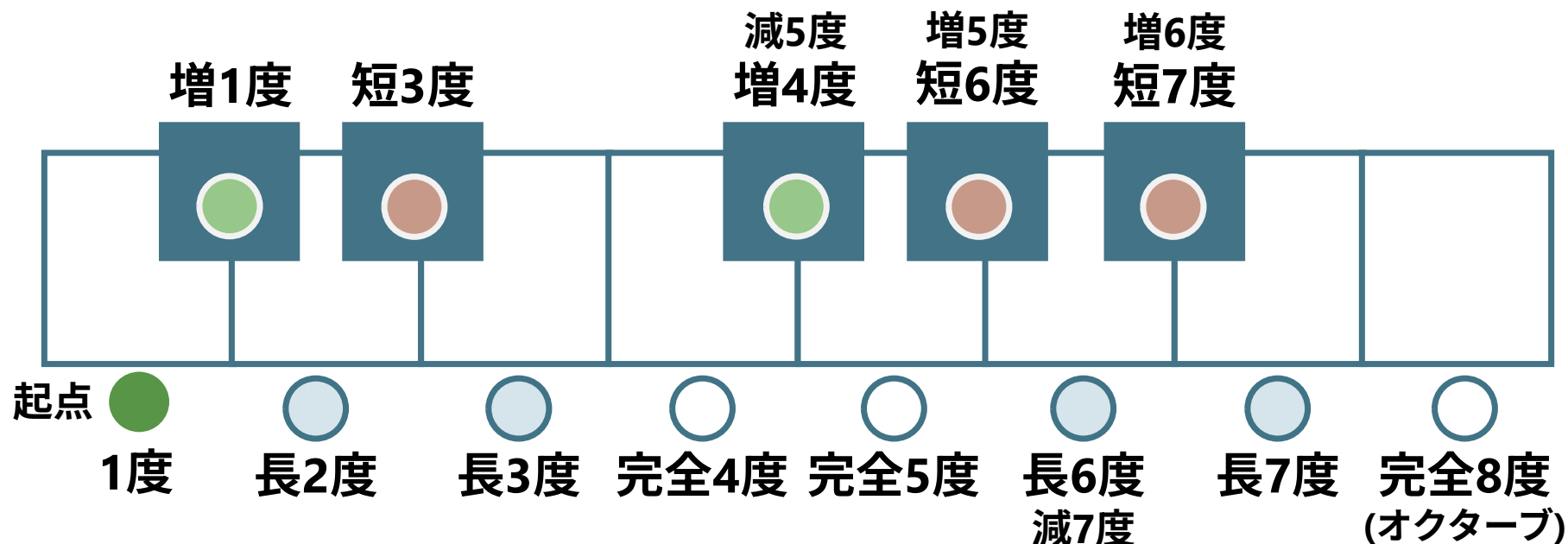
◆ 二短調（和声的短音階）



◆ 二短調（旋律的短音階）



度数：重要なので頑張って覚えて



長○度：長調のスケールで数える

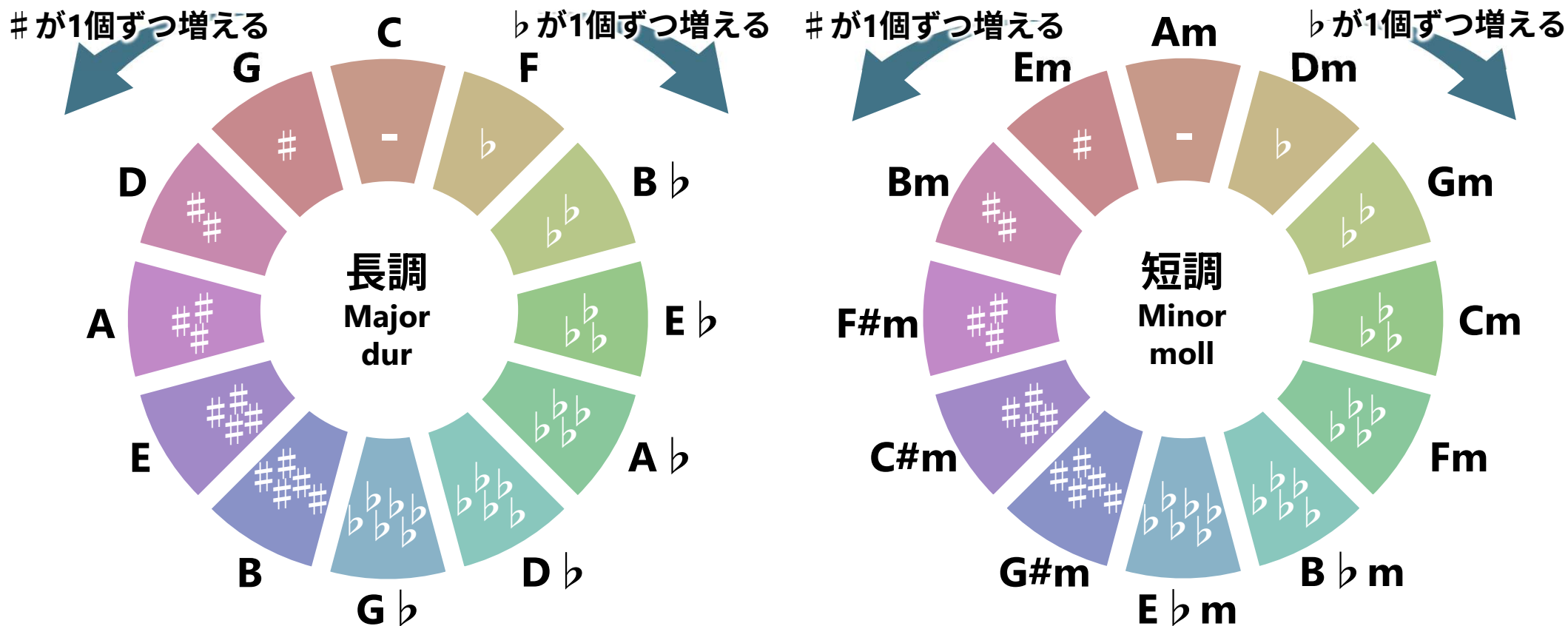
増○度：半音上げた音程

短○度：短調のスケールで数える

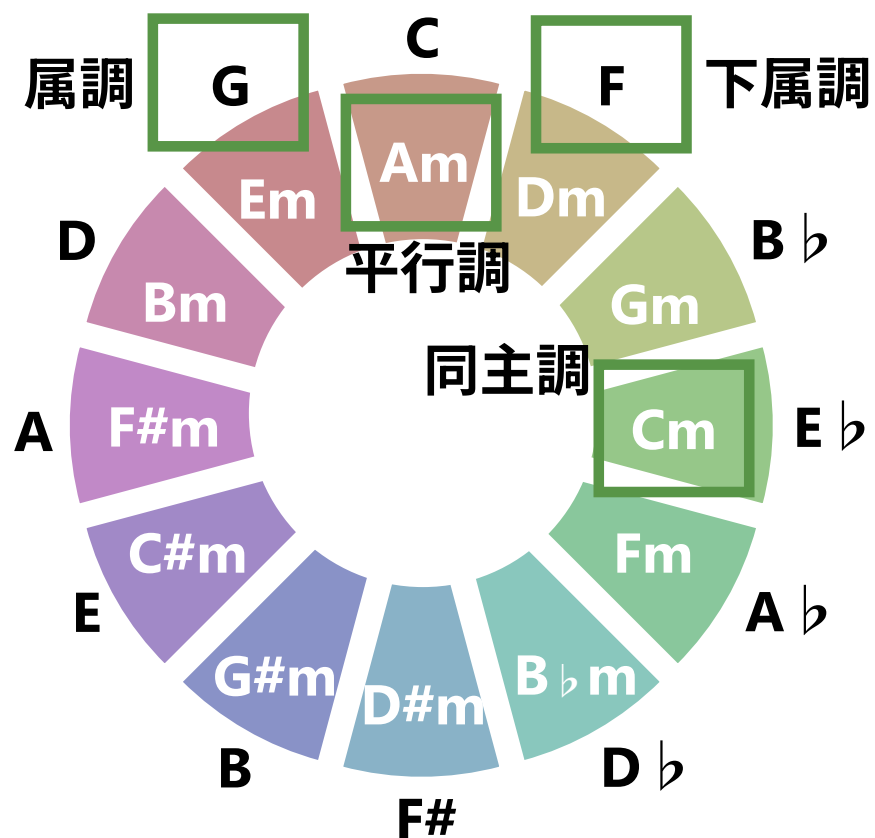
減○度：半音下げた音程

ある音から4度上(5度下)ずつ音を並べた円：五度圏

✓ 調の「調号の個数」を直感的に理解できる！！



関係調：ある調と似てる雰囲気を持つ調→転調しやすい



この2つが特に重要

平行調 ある長調の短3度下の短調

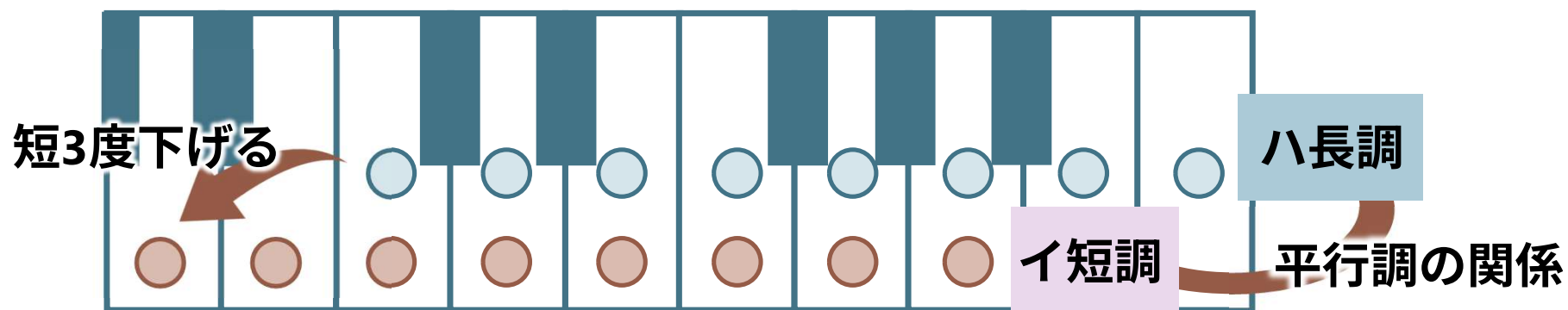
同主調 主音が同じ短調(長調)

属調 ある調の属音(4度下)から始まる長調(短調)：シャープが1個増える

下屬調 ある調の下屬音(4度上)から始まる長調(短調)：フラットが1個増える

平行調：調号が同じ長調と短調

- ✓ 「短調の短3度上の長調」と「長調の短3度下の短調」は調号が同じになる！



例1

ニ長調とロ短調

D-dur

h-moll

例2

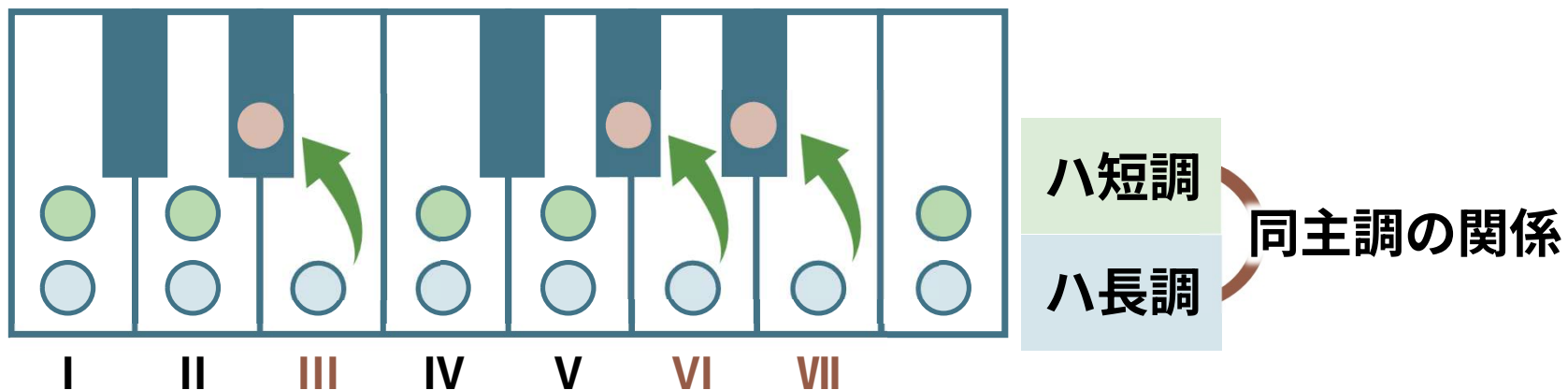
ヘ短調と変イ長調

f-moll

As-dur

同主調：主音(始まり)が同じ長調と短調

✓ 長調の3度、6度、7度を半音下げると主音(始まり)が同じ短調になる！



例1

二長調と二短調

D-dur

d-moll

例2

変ホ長調と変ホ短調

Es-dur

es-moll

導入

- ◆ 自己紹介
- ◆ はじめに
- ◆ 音楽理論が分かるとどうなるか

知識編

- ◆ 基礎的知識
- ◆ 和声（コード）の機能と種類
- ◆ 短調の場合の機能と種類

実践編

- ◆ 実際の曲のコード進行
- ◆ 様々な編曲者の編曲手法

和音：ある音に対して一定の間隔(3度)ごとに音を重ねたもの



同じ音であれば順番を入れ替えても同じ和音とみなせる



基本形 第1転回形 第2転回形
全部同じ「ドミソ」の和音

※第5音のみ省略可。第3音を省略したものはピアノアレンジでは多用すべきではない。また転回すると機能が変わることがあるがそれはまた後日。

ダイアトニックコードとその分類

主要3和音

主和音 下屬和音 属和音

I II III IV V VI VII

音階の音だけで作ったもの=ダイアトニックコード

I、IV、V

ソ	シ	レ
ファ	ラ	ド
ド	ミ	ソ
1	3	5

長3度 短3度

メジャーコード(長和音)
C、F、G

II、III、VI

ラ	ド	ミ
ミ	ソ	シ
レ	ファ	ラ
1	3	5

短3度 長3度

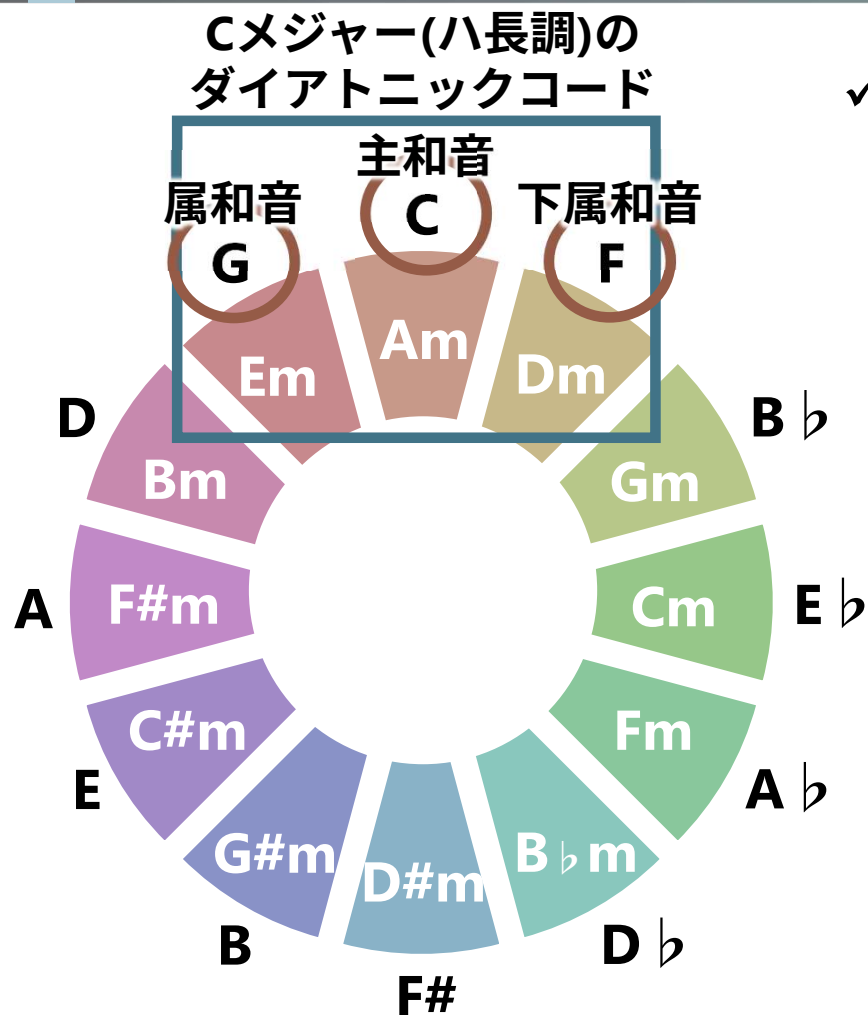
マイナーコード(短和音)
Dm、Em、Am

VII

シ	レ	ファ
1	3	5

短3度 短3度

ディミニッシュコード(減和音)



✓ 主音の周りの和音 = ^{VIIの和音を除く}ダイアトニックコード

主要三和音

主和音：真ん中

属和音：主和音の左隣

下属和音：主和音の右隣

例1 八長調

C、Dm、Em、F、G、Am

例2 二長調

D、Em、F#m、G、A、Bm

和音 = その調の主和音

和音の機能：大体3種類しかない

和音

トニック(T)：安定 C、Am、(Em)

ドミナント(D)：不安定 G、Bdim

サブドミナント(SD)：少し不安定

Dm、F

C-dur

C Dm Em F G Am Bdim

(T) (SD) (-) (SD) (D) (T) (D)

和声の進行(カデンツ)：パターンは3つのみ！

1

D → T (4度上行)

Ex. C-dur : C → G → C、C → G → Am

2

SD → D → T

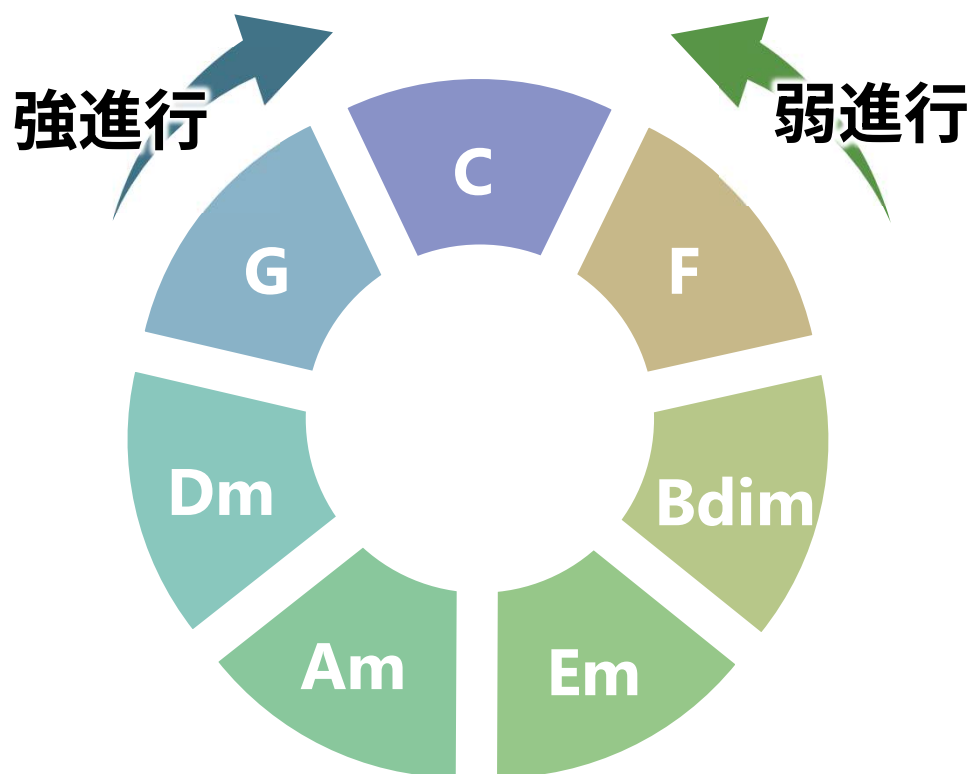
Ex. C-dur : C → F → G → C、Dm → G → C

3

SD → T

Ex. C-dur : C → F → C

✓ ダイアトニックコードだけで作った五度圏



強進行：クソつよ和声進行

$C \rightarrow F \rightarrow \dots \rightarrow Dm \rightarrow G \rightarrow C$

弱進行：よわよわ和声進行

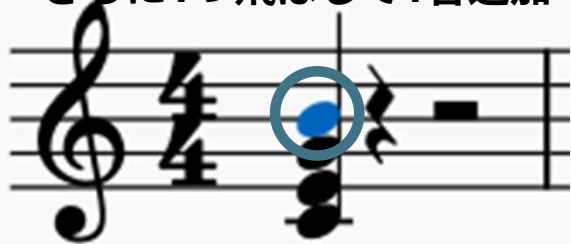
$C \rightarrow G \rightarrow \dots \rightarrow F \rightarrow C$

- ✓ クラシック音楽では弱進行は禁則でもみんな守ってない気がする
- ✓ 特にDm(II)→G(V)を「ツーファイブ」と言って持て囃してるが別に至極当然の動きなのである

(完全)4度上行最強！4度上行最強！4度上行最強！

セブンスコード(7の和音)：音を4つ重ねる

三和音に
さらに1つ飛ばしで1音追加

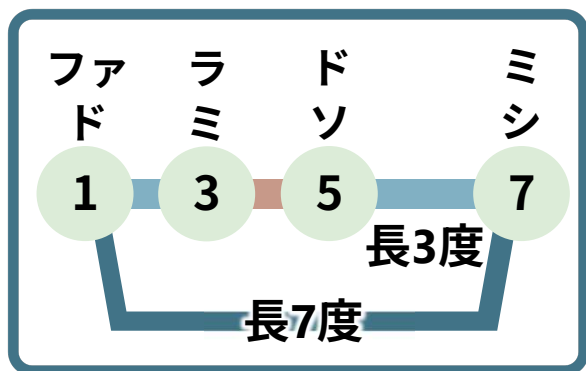


セブンスコード

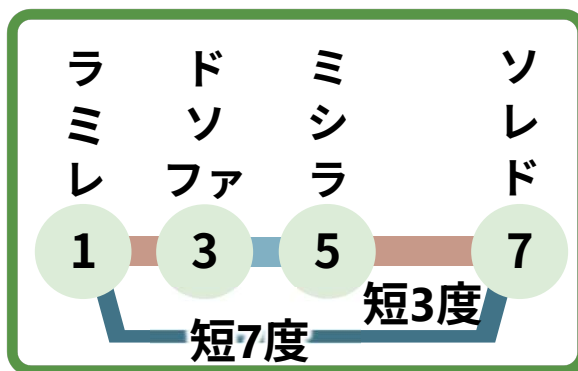
ハ長調のダイアトニックコードではこうなる



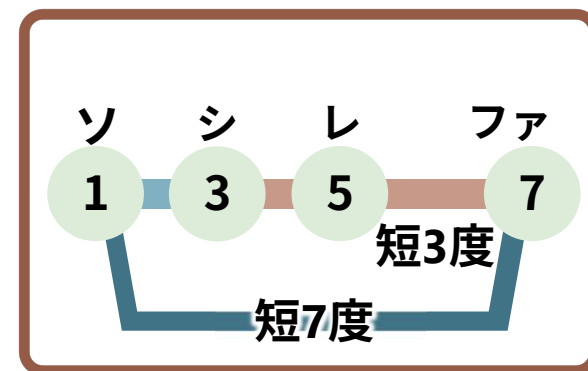
CM7 Dm7 Em7 FM7 G7 Am7 Bm7-5



メジャーセブンス(maj7)
Cmaj7、Fmaj7

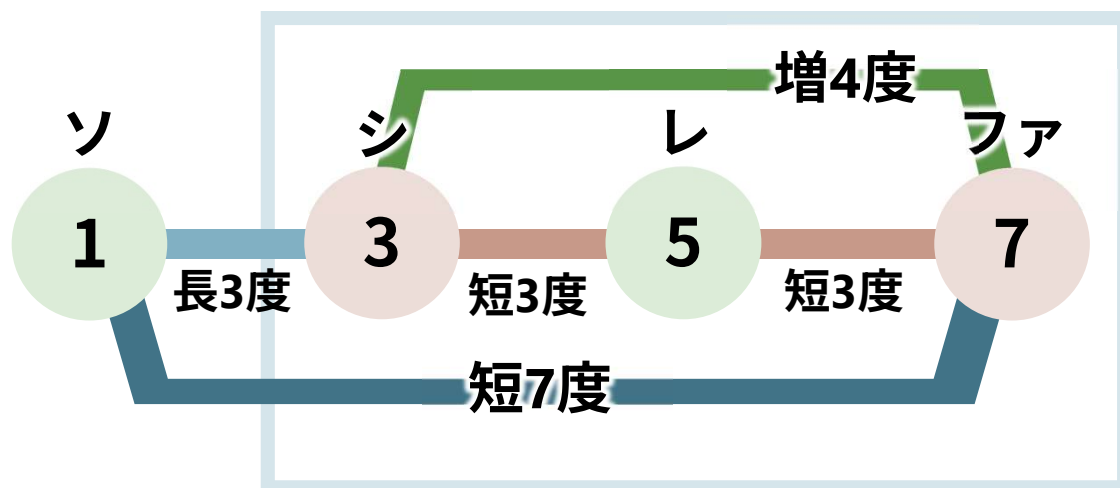


マイナーセブンス(m7)
Dm7、Em7、Am7



ドミナントセブンス(7)
G7

ドミナントセブンス（属7和音）：強いトニックへの解決

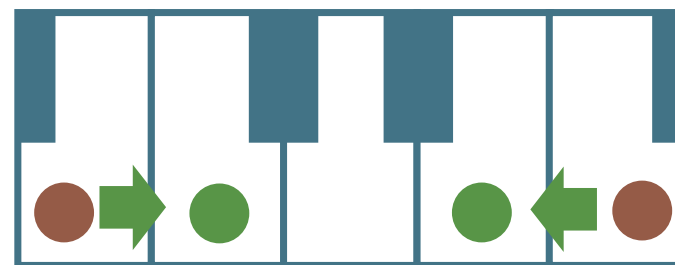


ディミニッシュコードと同じ音型

ディミニッシュコード = 「属7和音の根音を省略した形」

▶ 半音上のコードへの解決力大

増4度音程(トライトーン)：超不安定



ド-ミへの強い推進

ディミニッシュコード(dim)：ショパンも愛した和声界の沼

Cm **Cdim**

第5音を半音下げる

「属7の根音省略」と考えた方が分かりやすい

V_7 **G7** $\sharp 7$ **Bdim**

➤ ディミニッシュのセブンスを考えると...

9の和音(属9) $\sharp 9$

V_9 $\sharp 9$

ハーフ・ディミニッシュコード
(マイナーセブンスの第5音下方変位和音)

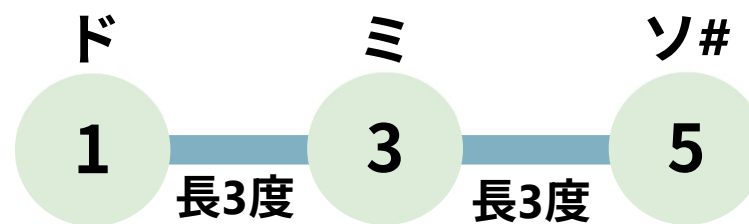
$Bm7$ $Bm7 \flat 5$

$\sharp 9$ $\sharp 9$

オーギュメントコード(aug)

C Caug

第5音を半音上げる オーギュメントコード



独特の浮遊感を有する

サステインコード(sus4、sus2)

Csus4 C Csus2

第3音を1度上げる 第3音を1度下げる

導入

- ◆ 自己紹介
- ◆ はじめに
- ◆ 音楽理論が分かるとどうなるか

知識編

- ◆ 基礎的知識
- ◆ 和声（コード）の機能と種類
- ◆ 短調の場合の機能と種類

実践編

- ◆ 実際の曲のコード進行
- ◆ 様々な編曲者の編曲手法

短調のダイアトニックコード：平行調のコードと同じ！

長調のときと同じように音を重ねる

a-moll

Am Bdim C Dm Em F G

I II III IV V VI VII

C-dur

C Dm Em F G Am Bdim

(T) (SD) (-) (SD) (D) (T) (D)

I II III IV V VI VII⁺

Am Bdim C Dm Em F G

(T) (SDm) (-) (SDm) (Dm) (SDm) (Dm)

トニック サブドミナント ドミナント
マイナー マイナー

c-moll

弱い
弱い

≡(°)(°)「でもやっぱり主音への解決は4度上行がええな...せや！」

c-moll

Cm
(T)
トニック

Ddim
(SDm)

E \flat
(-)

Fm
(SDm)

Gm
(Dm)

G
(D)
ドミナント

A \flat
(SDm)
(Tm)

B \flat
(Dm)

強いドミナントのために第7音をナチュラルに戻す！：和声的短音階

ディミニッシュセブンス(dim7)：ショパンがサントより愛した和声(知らんけど)

G7(b9) **Bdim7**

短調の属9和音

ディミニッシュセブンス

Bdim7

シ レ ファ ラ♭

3 5 7 9

増4度 増4度

トライトーン(増4度)が2つ=非常に不安定、強い半音上への進行

G7(b9)

ソ シ レ ファ ラ♭

3 5 7 9

短9度

ハーフ・ディミニッシュ

Bm7♭5

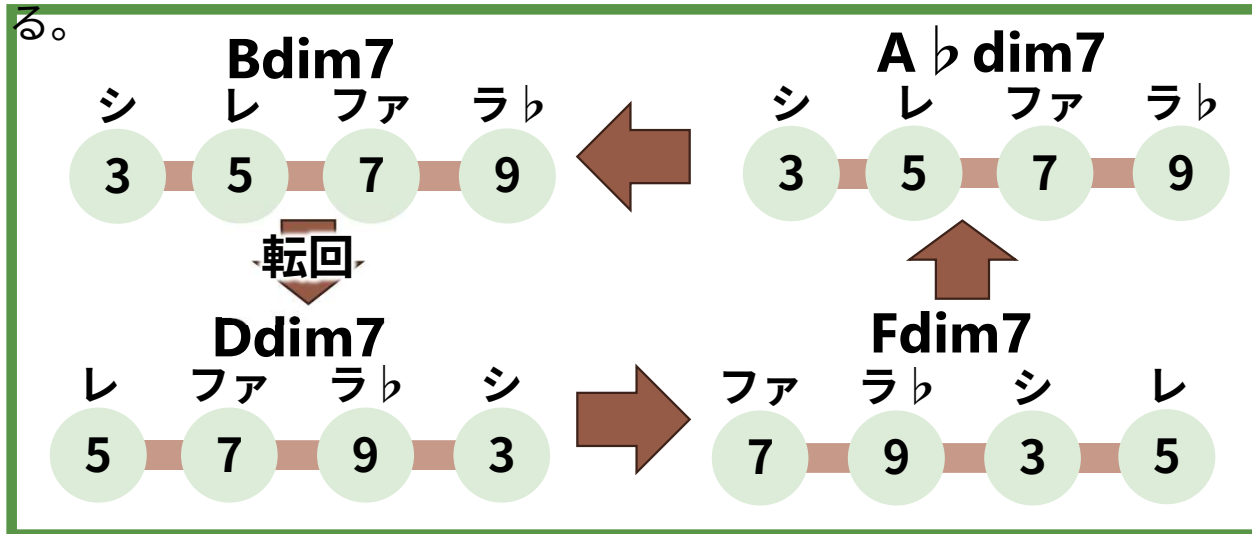
シ レ ファ ラ

1 3 5 7

ここだけ長3度

ディミニッシュセブンスは3種類しかない！！

※Fdim7をfis-mollのドミナントと解釈した場合、正しくはEis-Gis-H-Dとなる。



Cdim7

E♭dim7

G♭dim7

Adim7

C#dim7

Edim7

Gdim7

B♭dim7

複数の調にまたがっている＝転調時に非常に使いやすい！！

ちなみにこういった「読み替え」を巧みに使った転調をエンハーモニック転調という。



C-dur

I II III IV V VI VII
 C Dm Em F G Am Bm⁷⁻⁵

和音をその調の度数で表記

I II m III m IV V VI m VII m⁷⁻⁵ ←ポップスはこういう書き方もあるが私は好まない

このように表記

C: I V₇ I

例

イ短調



a-moll

I II III IV V VI VII
 Am Bm⁷⁻⁵ C Dm E F G

○₇ : 7の和音○₉ : 9の和音

∅ : 根音(ルート)省略

∩○ : 第5音下方変位

□○ : □調の○

V₇ : 属七和音V₉ : 属九和音♯₇ : デイミニッシュコード∨₇ : 第5音下げた属七∨₇ : ドッペルドミナント

○△：第△転回形

○₇：7の和音

○₉：9の和音

∅：根音(ルート)省略

′○：第5音下方変位

□
○：□調の○

+○：(マイナーコードで)第3音上行

○○：同主短調からの借用和音

N¹：ナポリ六度(-II¹とも)

′○：第5音上方変位

I²：第2転回形

V₇：属七和音

V₉：属九和音

♯₇：ディミニッシュコード

∨₇：第5音下げた属七

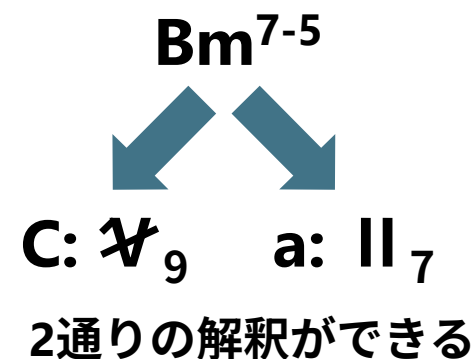
∨̇₇：ドッペルドミナント

+I：ピカルディ三度終止

C: ◦ IV: Fm

∨̇：オーギュメントコード

例



これは覚える必要はない（が、和文誌ではよく見るので載せておく）

導入

- ◆ 自己紹介
- ◆ はじめに
- ◆ 音楽理論が分かるとどうなるか

知識編

- ◆ 基礎的知識
- ◆ 和声（コード）の機能と種類
- ◆ 短調の場合の機能と種類

実践編

- ◆ 実際の曲のコード進行
- ◆ 様々な編曲者の編曲手法

Ex. 春よ、来い (Aメロ)

b-moll

B \flat m G \flat A \flat D \flat B \flat m Fm G \flat A \flat B \flat m

I VI VII → III I -V VI VII I

Tm SD Dm T Tm Dm SD Dm Tm

4度上行
(ドミナントモーション)

Des-dur(平行調)

VI

IV

V

I

小室進行

Ex. 春よ、来い (サビ)

b-moll

G \flat m A \flat B \flat m G \flat m A \flat B \flat m

VI VII I VI VII I

SD Dm Tm

Des-dur(平行調)で見ると...

IV

V

VI

456進行 (ZUN進行)

Ex. 丸の内サディスティック

c-moll ♩ = 96

ほうしょうはにゆう
 しゃご へいこうせん で
 — とうきょうはあい
 せど なにも な あい

A♭M7 G7 Cm7 E♭ **A♭M7 G7 Cm7**

VI SDm V D I T III m D VI SDm V I

丸サ進行 (Just The Two of Us進行)

Ex. サウダージ (ポルノグラフィティ)

Key: e-moll

H調のダイアトニックコード

Em Am D G C#m7⁻⁵ F#7 B7 Em

I IV VII III V V₇ V₇ I

典型的な強進行(四度上行)

H-durに転調

C#m7⁻⁵を V_9 (G-dur)として解釈...?

e-mollに着地

Ex. ノクターンOp.9-2 (ショパン)

♩ = 132

一時的にⅡ調(f-moll)へ転調

Ⅵ調と主調
「Cmに行くんかい！」

初っ端からdim7ですか...

またdim7

少し王道進行っぽい...?

※皆は人文系の論文を理系の引用形式で引用するのはやめようね！

中山孝史. 熊本大学教育学部紀要 人文科学. 1997, 46, 101-125.

Ex. Beautiful World (サビ)

d-moll ?
F-dur ?

Dm B \flat F C Dm B \flat F C

F-durで表記 VI IV I V VI IV I V

4度下行：弱進行

解決先が不明瞭（FなのかDmなのか）＝独特の浮遊感

Ex. Beautiful World (Aメロ)

The image displays a musical score for the A-measure of 'Beautiful World'. It consists of two systems of piano accompaniment. The first system is in F-dur (F major) and e-moll (E minor) modes, with a 4/4 time signature. The second system is in E-dur (E major) mode. Chords are labeled above the notes, and functional symbols (Roman numerals) are placed below the bass line. A green box highlights the +IV chord (A) in the first system, labeled 'ドリア4度' (Dorian 4th degree). A blue box highlights the VI chord (CM7) in the second system, labeled 'サブドミナントマイナーの代理和音' (Subdominant minor substitute chord). A blue arrow points from the VI chord to the +IV chord, labeled '4度上行：強進行' (4th degree ascent: strong progression).

Chord progression (first system): C, CM7, Bm7, Em, A

Chord progression (second system): CM7, B7, Em, A

Functional symbols: V, VI, -V, I, +IV, VI, V, I, +IV

Annotations: F-dur, e-moll, ドリア4度

サブドミナントマイナー
の代理和音

VI

V

I

+IV

4度上行：強進行

Ex. バラード第4番(ショパン)

滑らかに平行調へ進行

Chord progression in F minor:

- Measure 1: Fm (T)
- Measure 2: Edim7/F (D, $\circ V_9$)
- Measure 3: Fm (T)
- Measure 4: Edim7/F (D, $\circ V_9$)

Chord progression in A-flat major (As):

- Measure 5: Fm (T, As: VI)
- Measure 6: A \flat /E \flat (D, I^2)
- Measure 7: E \flat 7 (D, V_7)
- Measure 8: A \flat (T)

Blue arrow pointing to A \flat /E \flat chord: ドミナントの代理

Ex. Cry Baby (Official髭男dism)

転調の多さはポップス屈指かもしれない

f-moll ♩ = 96

Chords and Roman numerals shown in the score:

- Measure 1: Fm (I)
- Measure 2: Edim (V₇)
- Measure 3: D♭ (VI)
- Measure 4: Gm7⁻⁵ (II₇)
- Measure 5: C₇ (V₇)
- Measure 6: Dm (VI)
- Measure 7: C (V)
- Measure 8: F (I)

F: V → I と見せかけた巧みな転調